

(参考) (記載例) 社会資本総合整備計画 (活力創出基盤整備) 事後評価書 (中間評価書)

平成30年 5月 11日

計画の名称	1 1 与謝野町における公営住宅の長寿命化と住環境の向上																																	
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)					交付対象	与謝野町																											
計画の目標	良質な町営住宅ストックの形成と住環境の向上を実現する。																																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ水洗化戸数の割合</li> <li>・エレベーターの設置割合</li> <li>・既存町営住宅の長寿命化型改善割合</li> </ul>																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 町営住宅におけるトイレの水洗化戸数の割合 (当初150戸/331戸 ⇒ 最終160戸/331戸)</td> <td>45.0%</td> <td>—</td> <td>48.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 町内の3階建て以上の住宅ストックにおけるエレベーターの設置割合 (当初52戸/76戸 ⇒ 最終76戸/76戸)</td> <td>68.0%</td> <td>—</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 既存町営住宅ストックの長寿命化型改善 (外壁、屋根等改善) の実施割合 (当初8戸/331戸 ⇒ 最終13戸/331戸)</td> <td>2.4%</td> <td>—</td> <td>3.9%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)	① 町営住宅におけるトイレの水洗化戸数の割合 (当初150戸/331戸 ⇒ 最終160戸/331戸)	45.0%	—	48.0%		② 町内の3階建て以上の住宅ストックにおけるエレベーターの設置割合 (当初52戸/76戸 ⇒ 最終76戸/76戸)	68.0%	—	100.0%		③ 既存町営住宅ストックの長寿命化型改善 (外壁、屋根等改善) の実施割合 (当初8戸/331戸 ⇒ 最終13戸/331戸)	2.4%	—	3.9%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)																															
① 町営住宅におけるトイレの水洗化戸数の割合 (当初150戸/331戸 ⇒ 最終160戸/331戸)	45.0%	—	48.0%																															
② 町内の3階建て以上の住宅ストックにおけるエレベーターの設置割合 (当初52戸/76戸 ⇒ 最終76戸/76戸)	68.0%	—	100.0%																															
③ 既存町営住宅ストックの長寿命化型改善 (外壁、屋根等改善) の実施割合 (当初8戸/331戸 ⇒ 最終13戸/331戸)	2.4%	—	3.9%																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	129百万円	A	123百万円	B	—	C	6百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	4.7%																								
<b>事後評価 (中間評価)</b>																																		
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																																		
事後評価 (中間評価) の実施体制						事後評価 (中間評価) の実施時期																												
独自体制により評価						平成30年度																												
						公表の方法																												
						町ホームページにて公表																												
<b>1. 交付対象事業の進捗状況</b>																																		
<b>交付対象事業</b>																																		
<b>A1 基幹事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	番号	要素となる事業名 (事業個所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
										H25	H26	H27	H28	H29																				
1-A-1	住宅	一般	与謝野町	直接	与謝野町	地域住宅計画に基づく事業	公営住宅整備事業等 (公営住宅等ストック総合改善事業)	長寿命化計画策定委託1号	与謝野町							2																		
1-A-2						公営住宅整備事業等 (公営住宅等ストック総合改善事業)	安良団地長寿命化改善	与謝野町							13																			
1-A-3						公営住宅整備事業等 (公営住宅等ストック総合改善事業)	天神山団地共用部分改善	与謝野町							74																			
1-A-4						公営住宅整備事業等 (公営住宅等ストック総合改善事業)	三合池団地・安良団地住戸改善	与謝野町							34																			
											小計 (道路事業)		123																					
<b>B 関連社会資本整備事業 (該当なし)</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
										H25	H26	H27	H28	H29																				
											合計		□□																					
<b>C 効果促進事業</b>																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	番号	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
1-C-1	住宅	一般	与謝野町	直接	与謝野町		公営住宅ストック総合改善事業	三合池団地 改善工事設計、監理	与謝野町							3																		
1-C-2				直接	与謝野町		公営住宅ストック総合改善事業関連事業	安良団地 改善工事設計、監理	与謝野町								2																	
											合計		5																					

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
1-C-1	良好な生活環境を実現するための改善方策の検討																
1-C-2	長寿命化改善工事の実施に伴う工事設計、監理を行う事で工事の円滑な実施が期待される																
D 社会資本整備円滑化地籍事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
											小計（港湾事業）						
											合計						

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの水洗化工事及び浴室改善工事を実施し、居住性の向上が図れた。</li> <li>・3階建て以上でエレベーター未設置の既存ストックにエレベーターを設置し、利便性の向上が図れた。</li> <li>・計画的な長寿命化改善工事を行い、既存ストックの有効活用が図れた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（町営住宅におけるトイレの水洗化戸数の割合）	最終目標値	48.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	48.0%		
	指標②（町内の3階建て以上の住宅ストックにおけるエレベーターの設置割合）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100.0%		
	指標③（既存町営住宅ストックの長寿命化型改善（外壁、屋根等改善）の実施割合）	最終目標値	3.9%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	3.9%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
良質な町営住宅ストックの形成と住環境の向上の実現に向け、次期計画においても改善事業を実施していく。					